

社会資本総合整備計画 事後評価書														令和07年12月15日		
計画の名称	中国山地の豊かな自然を活かした広域周遊観光活性化計画															
計画の期間	平成31年度 ～ 令和05年度（5年間）										重点配分対象の該当					
交付対象	岡山県															
計画の目標	中国山地の豊かな自然と、歴史文化施設や温泉地などの観光拠点を有する岡山県と鳥取県が連携し、中国横断自動車道（岡山米子線）、中国縦貫自動車道、鳥取自動車道及び現在整備が進んでいる地域高規格道路北条湯原道路を軸として、観光拠点へのアクセス性を向上させ、広く圏域外からの来訪者の増加を図るとともに、山陰と山陽を結ぶ広域的な観光エリアとしての魅力を高め、観光入込客の増加など地域の活性化を図る。															
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		1,565	A	1,565	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27～29平均値)	(H33末)	(H35末)
1	【岡山県・鳥取県 共通目標】 拠点施設の観光入込客数108万人（H27～H29平均）から112万人（H35）に増加（4万人（3％）の増加）			
	【鳥取県・岡山県 共通目標】 拠点施設の観光入込客数3％（4万人）増加 (観光入込客数の増加割合)＝(評価時点の年間観光入込客数－H27～H29平均の年間観光入込客数)／(H27～H29平均の年間観光入込客数)	108万人	110万人	112万人
2	【岡山県 単独目標】 高梁川流域連携中枢都市圏における拠点施設の観光入込客数144千人（H27～H29平均）から149千人（H35）に増加（5千人（3％）の増加）			
	【岡山県 単独目標】 高梁川流域連携中枢都市圏における拠点施設の観光入込客数3％（5千人）増加 (観光入込客数の増加割合)＝(評価時点の年間観光入込客数－H27～H29平均の年間観光入込客数)／(H27～H29平均の年間観光入込客数)	144千人	146千人	149千人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
広域連携事業	A11-001	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	（主）新見川上線 布瀬 工区	現道拡幅 L=1.30km	高梁市	■	■	■	■	■	422	1.65	－
	A11-002	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	（主）新見日南線 足立 工区	現道拡幅 L=0.51km	新見市	■	■	■	■		229		－
	A11-003	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	（主）北房井倉哲西線 草間工区	現道拡幅 L=0.15km	新見市	■	■				55		－
	A11-004	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	（主）北房井倉哲西線 豊永佐伏工区	現道拡幅 L=0.30km	新見市	■	■	■	■	■	222		－
	A11-005	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	（主）新見川上線 矢戸 工区	現道拡幅 L=1.20km	新見市	■	■	■	■	■	320		－
	A11-006	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	国道	改築	国道４８２号 上徳山工 区	現道拡幅 L=0.30km	真庭市	■	■				110		－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
広域連携事業	A11-007	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	（一）蒜山高原線 下長 田工区	現道拡幅 L=0.44km	真庭市	■	■	■	■		89		—
	A11-008	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	（主）和気笹目作東線 万善工区	現道拡幅 L=0.27km	美作市	■	■	■	■	■	118		—
											小計						1,565		
											合計						1,565		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本整備計画の連携先である鳥取県と、本整備計画作成主体である岡山県主管課において相互に調整を行い、評価を実施。	令和7年12月
	公表の方法
	岡山県ホームページ
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	基幹事業の整備により、拠点施設へのアクセス性が向上し、広域周遊観光の活性化に寄与したと考えられる。 【交付対象事業の効果の発現状況】 ・A11-001：新見川上線の現道拡幅により、賀陽ICから用瀬嶽フリークライミング広場までのアクセス時間短縮に寄与したものと考えられる。 ・A11-002：新見日南線の現道拡幅により、新見ICから神郷温泉までのアクセス時間短縮に寄与したものと考えられる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
未完成の事業については、本計画完了後も引き続き、社会資本整備総合交付金等を活用し、計画的に事業を推進する。 未完成事業：A11-005	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	令和6年鳥取県・岡山県の観光拠点施設における観光入込客数		
	最 終 目 標 値	112万人	道路改良工事の完成により、観光拠点へのアクセス性の向上が図られ、鳥取県・岡山県の観光拠点における観光入込客数が108万人（H27～H29平均）から125万人（R6）へ増加し、最終目標値に対して、13万人（11.6％）の増加となった。出典「令和6年岡山県観光客動態調査報告書外」
	最 終 実 績 値	125万人	
2	令和6年岡山県の高梁川流域連携中枢都市圏における観光拠点施設の観光入込客数		
	最 終 目 標 値	149千人	道路改良工事の完成により、観光拠点へのアクセス性の向上が図られ、高梁川流域連携中枢都市圏における観光拠点施設の観光入込客数が144千人（H27～H29平均）から207千人（R6）へ増加し、最終目標値に対して、58千人（38.9％）の増加となった。出典「令和6年岡山県観光客動態調査報告書」
	最 終 実 績 値	207千人	